

接遇力向上に向けた研修を開催

2025年11月17日、今年も中野由美先生を講師にお迎えし、3年連続となる接遇研修を開催しました。研修では、あいさつの仕方やお辞儀の角度などについて、実際の場面を想定した練習を行いました。また、職員同士で話し合いながら意見を出し合い、接遇について理解を深める良い機会となりました。中野先生からは、接遇とは「目に見える形で表現する行動である」と教えていただき、日々の業務に活かす意識を高める機会となりました。



地震・津波を学ぶ防災体験

防災への取り組みの一環として、2025年11月19日にVR(仮想現実)による地震・津波体験、12月1日地震体験装置「ユレルンダー」を使った防災体験を行いました。VR体験では、津波が迫ってくる様子を映像で体験し、「本物のようでとても怖かった」という声が多く聞かれました。また、「ユレルンダー」では、震度7の揺れを体感し、立っていられないほどの強さに驚きの声が上がりました。当院では現在、防災対策の見直しを進めています。いつ起こるかわからない災害に備え、今後も安全確保に努めてまいります。



看護管理者研修

今年度も、看護部長が講師を務め、看護管理者のスキル向上を目的とした研修会を実施しています。日々のマネジメントに活かせる学びを深め、看護部全体の質向上を目指しています。



看護師長

- 4月 心理的安全性を高めるリーダーの役割
- 5月 キャリアディベロップメント理論を学ぶ
- 6月 チームを機能させるためのマネジメントアップ
- 8月 人事考課・評価について学ぶ
- 9月 チームワークとコミュニケーション ストロークについて学ぶ
- 10月 スタッフ育成に役立つ知識と理論を学ぶ～ナッジ理論～
- 11月 BCPを学ぶ
- 12月 人材開発と組織開発



副看護師長

- 5月 心理的安全性を高めるリーダーの役割
- 7月 チームを機能させるためのマネジメントアップ
- 9月 組織変革を学ぶ
- 10月 チームワークとコミュニケーション ストロークについて学ぶ
- 11月 キャリアディベロップメント理論を学ぶ
- 12月 BCPを学ぶ

ゆふいんだより

2026
新春号

2026年(令和8年)1月発行



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



輪投げ



治療体操訓練士による体操



体組成計・血圧測定



パン・ドーナツ・揚げまんじゅう



玖珠九重吹奏楽団 アカナツによる演奏



綿菓子作り



お飲み物提供



会場の様子

冬の健康まつり 開催しました

2025年12月2日、地域の皆さまの健康づくりを目的とした「冬の健康まつり」を開催しました。当日は81名の方にご参加いただき、会場は終始、明るく和やかな雰囲気に包まれました。はじめに、体操で身体をゆっくりとほぐし、その後、「アカナツ」による吹奏楽の演奏が行われました。迫力ある演奏に、会場からは大きな拍手が送られました。会場内では、パンやドーナツ、揚げまんじゅう、綿菓子、お飲み物を提供し、参加者の皆さまに楽しんでいただきました。また、健康チェックコーナーでは、体組成計による測定や、血圧・血糖の測定を実施しました。ご自身の健康状態を確認する良い機会となったとの声も聞かれました。

今後も、地域の皆さまが楽しみながら健康づくりに取り組めるイベントを企画してまいります。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



整形外科 手術から日常の生活まで一貫サポート

当院の最大の強みは、
治療の始まりから回復のその先まで、一貫してサポートできる体制です

歩行時の痛みや関節の違和感を「年のせい」と我慢していませんか？

当院の整形外科では、変形性膝関節症や股関節症に対する人工関節置換術に加え、腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎手術にも対応しています。

経験豊富な専門医による治療によって、痛みの軽減を目指し、より快適に動ける生活を取り戻すお手伝いをしています。

外来

外来で医師が丁寧に診察し、治療方針を決定します

◎当院の検査設備

- ・MRI ・CT ・レントゲン
- ・骨塩定量（骨密度）検査

◎手術について

当院で専門性の高い手術が可能です

- ・膝・股関節の人工関節置換術
- ・腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎固定術に対応

急性期一般病棟 東 2 病棟

◎手術前から術後まで、全身状態を丁寧に管理し、安全な手術と早期回復を支援します

◎術後は回復状況に応じて、リハビリ目的の回復期リハビリテーション病棟、または地域包括ケア病棟への転棟を調整します

回復期リハビリテーション病棟 東 4 病棟・西 3 病棟

回復期リハビリテーション病棟は、日常生活へ戻るための集中的なリハビリを行う病棟です

- ◎膝や股関節などの人工関節手術後、または背骨・腰の手術後の患者さんが主に転棟され、他院からリハビリ目的で転院される方もいます
- ◎座る・立つ・歩く・階段の上り下りといった基本動作から、家事や趣味など生活に近い動作まで、多職種が計画的に支援し、元の生活や社会参加へ確実につなげていきます

※脳血管疾患、肺炎治療後の方等の入院にも対応しています。

地域包括ケア病棟 東 3 病棟

地域包括ケア病棟は、急性期治療が落ち着いた後、自宅や施設へ戻る準備をする病棟です

- ◎整形外科手術後の患者さんのうち、体力や生活リズムを無理なく整えながら次の生活につなぐ段階の方が中心となります
- ◎リハビリも行いながら、日常生活に戻るための動作を整える時期として支援し、安心して退院を迎えられるようお手伝いしています

※整形外科疾患以外の方の入院にも対応しています。



まずはご相談ください

ばね指・腱鞘炎、腱板断裂など、手足の外科的治療に加え、転倒などによる大腿骨や上肢の骨折治療にも幅広く対応しています。
痛みやしびれでお悩みの方は、まずは整形外科外来で医師にご相談ください。



整形外科 手術件数 2025 年 4 月～ 9 月

関節外科（人工関節）股関節・膝関節	29 件	異物除去（抜釘）	11 件
脊椎・脊髄外科	9 件	肩の外科	2 件
観血的骨接合術（大腿骨・膝蓋骨・上腕骨・橈骨）	51 件	その他（アキレス腱・外反母趾・陥入爪）	41 件
鏡視下手術（膝）	23 件		

第 10 回 JCHO 地域医療総合医学会 参加報告 JCHO

「次世代地域医療の創造 ～我らが、明日から～」in 横浜

第 10 回 JCHO 地域医療総合医学会に参加し、各部署より合計 10 題の発表を行いました。
発表を通じて、日々の業務をあらためて振り返り、院内外で情報を共有できたことは、大変貴重な機会となりました。

今後も日々の学びを積み重ね、より良い地域医療の実現に向けて取り組んでまいります。

また、学会の合間には多職種の方々との交流の時間もあり、意見交換を行うなど有意義なひとときとなりました。

この経験を通じて、職員同士のつながりもさらに深まったと感じています。

